港北NTはいきものの宝庫

この豊かな
自然を
みんなで
守りたい

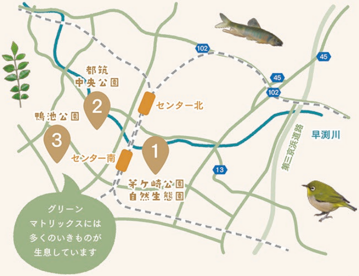
都市と自然を併せ持つ街、港北 NT。駅周辺は都市整備計画により、開かれた都市の姿を見せるが、少し駅から離れると、緑道から緑道へ、緑道から公園へと繋ぐグリーンマトリックスシステムが整備され、豊かな自然が守られている。

総面積、約 90ha もの貴重な緑に、どのぐらいのいきものが生息し、見られるのか。

今号では、港北 NT でよく見られるいきものを図鑑形式でご紹介します。

この春、外へ出かけて、身近ないきものを観察しませんか。

おすすめスポット



NPO法人『茅ケ崎公園自然生態園』事務局長・亀田さやかさんにお聞きしました！

取材協力＝茅ケ崎公園自然生態園

港北NTの身近な自然に目を向けてみよう

「緑を最大限に保存する街づくり」を方針として作られた港北NTですが、その通り開発前の自然をとてもよく残しています。住む人は、街の自然環境を楽しみ、憩い、子どもたちの遊べる里山自然も多く、自然にかかわる活動もあちこちで行われています。

港北NTで見られる主な野鳥では、メジロ、シジュウカラ、オナガ、エナガ、カワセミ、コゲラ、ウグイス、コサギなどが挙げられます。いつもではないのですが、オオタカやツミ、ゴイサギや、冬に渡ってくるジョウビタキやルリビタキ、シメ、キンクロハジロなど、遇うと嬉しい鳥も。また、今年はとても多くアトリが来ていて、鳥をいつも観察する人たちが驚いていました。こうしたその年ごとの変化も楽しみです。

昆虫では、子どもたちに人気のカブトムシは多いです。公園などで保全活動をする人たちの作る堆肥置場が幼虫の生育場になっているためだと思います。他にもコクワガタ、ノコギリクワガタ、シロスジカミキリ、オオカマキリなど、雑木林にすむ昆虫は比較的よく見られます。

植物では、早春のシュンランから、ウラシマソウ、キンラン、マルバスミレ、カントウタンポポ、キンミズヒキ、ゲンノショウコ、フタリシズカ、ホタルブクロなど、懐かしさを感じるような野草も見られます。

次ページからの図鑑も併せてご覧ください。ただ、昆虫も植物も、港北NT全般というよりも、「ここの公園ならよく見られる」というように、生息場所が限られてきているかもしれません。

また、早渕川にアユがのぼってきているのはご存知でしょうか。モクズガニも海から川をのぼり、また繁殖のために海に戻ります。在来のトウヨシノボリやモツゴなども、せせらぎや池に生息しています。

このように港北NTには、豊かな自然やいきものが息づいています。これらを守るためには、まずは私たちのそばにはさまざまないきものがすんでいることを知ることが大事だと思います。ほとんどのいきものは、昔からこの街にすむ先住者。開発ですみかを追われながらも、健気に生きています。気づかなければそれまでですが、出会いがあれば、そのいきものや植物のしたたかな生き方、形の美しさ、おもしろさ、生態の不思議など興味が湧いてきます。出会いを楽しめたら、共生のために何ができるか考えるいいきっかけになると思います。

この春、近くの公園に散歩に行ったり、グリーンマトリックスを歩いてみませんか？思ってもいなかった発見があると思います。一歩進めて何かしたいと思われたら、この街には自然にかかわるグループがたくさんあります。それぞれ楽しい活動をしているので、参加してみてはいかがでしょう。

身近にいるいきものを
通して自然を
感じてみませんか？

NPO法人『茅ケ崎公園自然生態園』
事務局長・亀田さやかさん

1 さまざまな体験講座を行う

茅ケ崎公園自然生態園

『茅ケ崎公園』の中にある『自然生態園』。子どもたちに、豊かな自然を大切にする心を育んでほしいと、年間通して、さまざまないきものの観察会や米作り、クラフトなどの体験講座を行なっている。ぜひ気軽に参加してみよう。

DATA

横浜市都筑区茅ケ崎南 1-4
☎045-945-0816
開園日：土・日・祝日
開園時間：4月～9月 9:00 ～ 16:00
10月～3月 9:00 ～ 15:00

主な体験講座のスケジュール

野の花ウォッチング

ヤゴの観察会

セミの羽化、土壌動物、昆虫標本づくり

鳥の観察会

5月 クモの観察会

5月～10月 めざせ！ザリガニマスター（詳細は P10 へ）

11月 冬越する生き物

3月 おたまじゃくしの観察会

3 鴨池を中心にトンボがよく見られる

鴨池公園

鴨池公園橋を介して繋がる２カ所の敷地からなる公園。北東側には子どもたちに人気のこどもログハウスやまんまる広場、雑木林が広がり、南西側には、鴨池がある。自然教室は例年８月の最終日曜日に開催している。

DATA

横浜市都筑区荏田東 3-2

鴨池で見られる主ないきもの

【野鳥】
カルガモ・コサギ・カワウ・バン・カワセミ・カイツブリなど

【トンボ】
コシアキトンボ・ショウジョウトンボ・シオカラトンボ、
オオヤマトンボ・ギンヤンマ・クロイトトンボ・キイトトンボ
7月になるとチョウトンボが見られる

2 里山風景が残る区内最大の公園

都筑中央公園

港北ニュータウン土地区画整理事業により誕生した、区内最大の総合公園。春は桜、秋は紅葉が楽しめる自然豊かな場所。園内では、NPO 法人『都筑里山倶楽部』が中心となり、竹林や雑木林の保全、農業体験、自然観察会など、年間通してさまざまなイベントを開催している。

DATA

都筑区茅ケ崎中央 2260
☎045-941-0987
参加費：一般参加者小学生以上300円、都筑里山倶楽部会員100円

主な観察会のスケジュール

【4月9日】春の植物観察会
スミレも多くの種が開花を迎え、シュンランやフデリンドウも花を咲かせる季節

【4月16日】春の昆虫観察会
スプリング・エフェメラルと呼ばれる蝶、ツマキチョウの発生時期

【4月29日】晩春の植物観察会
キンラン、ギンラン、ササバギンラン、エビネなど、野生蘭の開花盛期

【5月6日】ゴールデンウィークの昆虫観察会
長い冬をサナギで過ごしてきたアゲハの仲間が羽化する季節

【5月7日】初夏の野鳥観察会
夏鳥や多くの留鳥が観察される季節。大池では、外来種駆除で増えたモツゴを狙い、カワセミが定住するようになった

【5月28日】大池の生き物観察会
外来種駆除対策として、アメリカザリガニ釣りを行う

【6月4日】初夏の昆虫観察会
アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミなどが羽化を迎え、トンボもそろそろ現れる季節

春の植物観察会

春の昆虫観察会

大池の生き物観察会